



歴史未来館からのお知らせ

企画展「汎エンクウ頌」展

岐阜大学の野村 幸弘教授等5人の教授とOB4人による円空オマージュ展を開催します。

展示期間 2月14日(土)～3月22日(日)

時間 午前9時～午後5時

場所 歴史未来館 **入館料** 無料

休館日 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)

講演会「円空、江戸のアヴァンギャルド」

日時 2月28日(土)午後2時～3時

講師 野村 幸弘氏

(岐阜大学教育学部美術教育講座教授)

場所 歴史未来館 1階 多目的ホール

申込方法 インターネットによる事前申込
(2月3日受付開始)



▲申込みはこちらから



〒歴史未来館 ☎388-0161

コラム Column | 見る!知る!学ぶ!れきみ通信

現代に響く“円空”を体感 「汎エンクウ頌」

令和4年10月、歴史未来館で初めての現代アート展「佐倉 密 ウチュウニオヨブテツガク」を開催しました。佐倉 密氏の作品は、作家がコンセプトやアイデアを提示し、実際の制作は専門の職人などに委ねる「発注芸術」と呼ばれるスタイル。その制作に、岐阜大学の野村 幸弘教授と、当時ゼミ生だった「芸術集団ブレーメン」の4人が深く関わっていました。

野村教授は、イタリア美術史の専門家であるとともに、現代アートに造詣の深い研究者でもあります。さらに、館内に展示されている慈眼寺所蔵の円空仏を鑑定した、故・土屋 常義岐阜大学教授の研究を受け継いでいます。

こうした学術的・人間的なつながりの中から、江戸時代の美濃に生きた円空上人の精神と造形世界を現代の感性によって再解釈するものとして、このたび円空仏と現代アートを融合させた、企画展「汎エンクウ頌」を開催する運びとなりました。

本展は、円空上人没後330年という節目の年を記念し、円空の彫刻に刺激を受けた多彩な作品を紹介するものです。野村教授をはじめとする岐阜大学の教員、そして「芸術集団ブレーメン」のメンバー、総勢9名の出展者が、それぞれの視点によって円空へのオマージュを表現した、過去と現在が交差する、刺激に満ちた展示内容となっています。

「汎エンクウ頌」は、笠松町の文化拠点である歴史未来館にふさわしい企画展であり、多くの皆さまに新たな発見と感動をもたらすものと思っています。ぜひ会場に足をお運びいただき、“現代に響く円空”の姿を心ゆくまでご体感ください。

